

前橋第九合唱団第51回演奏会

ヴェルディ作曲：歌劇《ナブッコ》
(1813-1901)

“序曲”

“行け！わが思いよ金色の翼に乗って”

G. Verdi: Opera 《Nabucco》

“Overture”

“Va, pensiero, sull'ali dorate”

(1770-1827)

ベートーヴェン作曲：交響曲第9番 二短調 作品125「合唱付」

L. v. Beethoven: Symphony No. 9 in D Minor, Op. 125, “Choral”

前橋第九

BEETHOVEN FOREVER



Conductor
Kousuke TSUNODA
©Hikaru Hoshi

指揮 ■ 角田 鋼亮

ソプラノ ■ 種谷 典子

アルト ■ 富岡 明子

テノール ■ 城 宏憲

バリトン ■ 今井 俊輔

管弦楽 ■ 群馬交響楽団

合唱 ■ 前橋第九合唱団

音楽監督：田島 英子

合唱指導：山田 哲夫

高田 葉月

大谷 瑞枝

ベートーヴェンが願った自由・平等・平和な世界…
50年を経て新たな一歩を踏み出す私達、前橋第九合唱団が
その思いを発信し続けます!!



Soprano

Noriko TANETANI

©FUKAYA Yoshinobu/auraY2

Alto

Akiko TOMIOKA

Tenor

Hironori JO

Baritone

Shunsuke IMAI

2023

12.17

(1:30pm開場)
2:00pm開演

ベイシア文化ホール(群馬県民会館)大ホール

SS¥4,500 / S¥4,000 / A¥3,000 / B¥2,500 高校生以下各500円引

主催 ■ 前橋第九公演実行委員会

お問い合わせ ■ 前橋第九合唱団事務局

〒371-0805 前橋市南町3-37-12

TEL 027-224-7331 / FAX 027-212-3556

後援 ■ 群馬県教育委員会 / 前橋市教育委員会 / 前橋市民音楽連盟

前橋商工会議所 / 上毛新聞社 / FM GUNMA / まえばしCITYエフエム

プレイガイド ■ ベイシア文化ホール(群馬県民会館) / 煥乎堂

PROFILE OF PERFORMERS

出演者のプロフィール

角田 鋼亮 (つのだ・こうすけ) 指揮



©Hikaru Hoshi

東京藝術大学大学院指揮科ならびにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2008年カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。これまでに、ベルリン・コンツェルトハウス管、ブランデンブルグ響、上海歌劇院管、札幌、山響、仙台フィル、N響、読響、都響、東京フィル、日本フィル、新日本フィル、名古屋フィル、セントラル愛知響、中部フィル、アンサンブル金沢、京響、大阪フィル、九響などと共演している。2015年よりセントラル愛知交響楽団の指揮者を務め、2018年より常任指揮者に就任。2016-2020年大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者、2018-2022年 仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者を歴任するなど、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として各地にて活躍の場を拡げている。2016年「第11回名古屋ペンクラブ音楽賞」、2019年「令和元年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞」、2020年「名古屋市文化振興事業団第36回芸術創造賞」を受賞している。

<http://kosuketsunoda.com>

種谷 典子 (たねたに・のりこ) ソプラノ



©FUKAYA Yoshinobu/auraY2

国立音楽大学及び同大学院首席卒業。学部卒業時に武岡賞を、また大学院修了時に声楽専攻最優秀賞を受賞。新国立劇場オペラ研修所第16期修了。イタリア、スイスにて研鑽を積む。2021年11月宮本亞門演出 二期会『魔笛』パペーナに抜擢され、存在感のある演唱で好評を博す。その後、二期会『フィガロの結婚』スザンナ、日生劇場『セビリアの理髪師』ベルタに出演。23年7月には、二期会『椿姫』でタイトルロールを演じ、観客を魅了した。コンサートでも「第九」やフォーレ「レクイエム」のソリストとして活躍。第24回リカルド・ザンドナイ国際コンクール(イタリア)において、Tokyo Metropolitan Opera Foundation 賞を受賞。二期会会員

城 宏憲 (じょう・ひろのり) テノール



東京藝術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所修了後、渡伊。リリコ・スピントの声質と豊かな演技力で国内オペラを中心に活躍。東京・春・音楽祭R.ムーティ指揮『マクベス』マルコム、新国立劇場『さまよえるオランダ人』エリック、二期会『蝶々夫人』ピンカートン、日生劇場『メデア』(日本初演) ジャザーネ・兵庫芸文『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ等出演。23年2月国際的アート集団チームラボとの融合で話題となった二期会『トゥーランドット』でカラフを演じ絶賛を博した。今後は、23年9月二期会『ドン・カルロ』タイトルロールに出演予定。テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK「クラシックTV」出演。第84回日本音楽コンクール第1位。二期会会員

群馬交響楽団 管弦楽

1945年戦後の荒廃の中で文化を通じた復興を目指して創立、1955年「群響」をモデルに制作された映画「ここに泉あり」が公開され、全国的に注目を集めた。1947年から始めた移動音楽教室は、2022年度までに延べ646万人を超える児童・生徒が鑑賞した。1994年に「プラハの春国際音楽祭」、「ウィーン芸術週間」から同時に招待を受け4カ国を巡る海外公演を実現、2014年には定期演奏会が500回に達した。

群馬交響楽団は、定期演奏会、移動音楽教室をはじめ幅広い音楽活動を展開し、群馬県の文化の象徴として県民から幅広く支持されており、2020年に創立75周年を迎えた。

また、2019年9月に開館した「高崎芸術劇場」に活動拠点を移し、2023年4月に就任した飯森範親常任指揮者のもと、さらなる演奏活動の飛躍・向上を目指している。

前橋第九合唱団 合唱

1973年に前橋音楽鑑賞会の12月例会の「第九演奏会」に出演する合唱団として結成され、昨年50周年を迎えた。1977年のビゼーのオペラ「カルメン」の公演以外、毎年「第九」の公演を行ってきたが、1988年以降は第九の他にもう1曲の合唱にも取り組んできた。しかし2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大によりやむなく公演を中止した。また、同年には創立時からの公演のステージである「群馬県民会館」の県有施設としての廃止問題に取り組み、中心となって『群馬県民会館の存続を願う会』という団体を立ち上げ、2万人を越える署名を集めた。

コロナ禍の2021、2022年は例年200名以上で構成していた合唱団の出演人数を制限する形で公演し、成功させた。

51周年を迎える今年は、新しい団員を迎えることもでき、新たな出発の年として、心をひとつにして本番に臨む。



お願い

*当公演では、出演者へのお手紙・プレゼント・祝い花の受け取りは全てお断りさせていただく事となりました。

*当日、体温37.5℃以上の熱のある方、体調に不安がある方のご来場はお控えください。

*未就学児のご入場はご遠慮下さい。(今回は託児所はございません。)